

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 28.5$ で前期比3.1ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 19.7$ で1.2ポイント増、収益は $\Delta 23.4$ で0.1ポイント増とともに前期並の減少・減益が続き、受注残は $\Delta 17.5$ で6.3ポイント増と大幅に減少幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさが大きく和らぎ、売上額、収益、受注残はいずれも減少・減益幅がかなり縮小する見込み。

業種別でみると、業況は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく厳しさが和らぎ、「一般機械器具・金型」はかなり悪化幅が拡大し、「電気機械器具」は非常に低調感が強まった。売上額は、「電気機械器具」は大幅に改善し、「金属製品・建設用金属製品」はわずかに減少幅が縮小し、「一般機械器具・金型」は増加から減少に転じた。受注残は、「金属製品・建設用金属製品」は増加に転じ、「電気機械器具」は極端に減少幅が縮小し、「一般機械器具・金型」は増加から減少に転じた。収益は、「金属製品・建設用金属製品」はかなり持ち直し、「電気機械器具」は多少減益幅が拡大し、「一般機械器具・金型」は増加から減少に転じた。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 7.5$ で0.2ポイント増と前期同様の下降が続き、原材料価格は20.1で4.6ポイント増とやや上昇傾向が強まり、在庫は $\Delta 2.5$ で6.5ポイント増と大きく不足感が改善した。来期の見通しについては、販売価格は下降傾向が幾分弱まり、原材料価格は上昇傾向が多少強まり、在庫は今期同様の不足感が続く見通し。

業種別でみると、販売価格は、「電気機械器具」「金属製品・建設用金属製品」はともに大幅に下降傾向が弱まり、「一般機械器具・金型」はかなり下降幅が拡大した。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく上昇傾向が強まり、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに若干上昇傾向が弱まった。在庫は、「一般機械器具・金型」は幾分不足感が改善して適正水準となり、「電気機械器具」は不足から適正水準となり、「金属製品・建設用金属製品」は過剰に転じた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 24.5$ で1.8ポイント減とわずかに窮屈感が強まった。借入難易度は $\Delta 10.1$ で8.5ポイント減と大きく厳しさが強まった。借入をした企業は13.9%で5.7ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は12.5%で2.9ポイント増加した。来期の見通しについて、資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、借入をする企業は幾分減少し、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「金属製品・建設用金属製品」はかなり改善し、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに大幅に厳しさが増した。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく厳しさが和らぎ、「一般機械器具・金型」はかなり後退し、「電気機械器具」は厳しい状況に転じた。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」は前期並で推移し、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに大きく増加した。設備投資を実施した企業は、「電気機械器具」はかなり増加し、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともに前期同様変わらずであった。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で41.7%となった。2位は「原材料高」で29.2%、3位は「同業者間の競争の激化」で16.7%となった。以下、4位は「利幅の縮小」で9.7%、5位は「仕入先からの値上げ要請」「人手不足」がともに8.3%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で45.8%となった。2位は「経費を節減する」で31.9%、3位は「人材を確保する」で9.7%となった。以下、4位は「情報力を強化する」で8.3%、5位は「新製品・技術を開発する」で6.9%となった。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△2.4で前期比15.9ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。受注残は2.8で19.7ポイント増と増加に転じ、収益は△7.9で7.7ポイント増とかなり持ち直し、売上額は△6.4で1.7ポイント増とわずかに減少幅が縮小した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも改善した。価格動向については、原材料価格は18.4で6.9ポイント増と大きく上昇傾向が強まり、販売価格は△2.1で6.7ポイント増と大幅に下降傾向が弱まった。在庫は3.0で7.8ポイント増と過剰に転じた。資金繰りは△4.3で6.9ポイント増とかなり改善し、借入難易度は0.0で12.5ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。借入をした企業は11.1%と前期並で推移した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%と前期同様変わらずであった。

来期の見通しについては、業況は低調感がやや強まる見込み。受注残は増加幅がかなり拡大し、売上額、収益はともに増加に転じる見通し。原材料価格は今期同様の上昇で推移し、販売価格は今期並の下降が続くと見込まれる。在庫は過剰から品薄に転じ、資金繰りは今期同様の厳しさとなり、設備投資をする企業は横這いで推移する見込み。

経営上の問題点については、1位は「原材料高」で33.3%、2位は「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」「工場・機械の狭小・老朽化」がいずれも22.2%、3位は「販売納入先からの値下げ要請」で11.1%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で33.3%、2位は「情報力を強化する」「人材を確保する」がともに22.2%、3位は「経費を節減する」「不採算部門を整理・縮小する」「機械化を推進する」「教育訓練を強化する」がいずれも11.1%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は△26.7で前期比19.2ポイント減とかなり悪化幅が拡大した。受注残は△16.3で19.4ポイント減、収益は△17.8で20.0ポイント減、売上額は△17.3で20.5ポイント減といずれも増加から減少に転じた。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも悪化した。価格動向については、原材料価格は15.8で2.2ポイント減と若干上昇傾向が弱まり、販売価格は△10.8で10.3ポイント減とかなり下降幅が拡大した。在庫は△1.9で4.8ポイント増と幾分不足感が改善して適正水準となった。資金繰りは△19.4で5.8ポイント減と大幅に厳しさが増し、借入難易度は25.0で8.3ポイント減とかなり後退した。借入をした企業は27.3%で17.3ポイント増と大きく増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は9.1%で0.9ポイント減と前期同様変わらずであった。

来期の見通しについては、業況は今期同様の悪化幅で推移する見込み。受注残は今期同様の減少幅で推移し、売上額、収益はともに大きく減少・減益幅が拡大する見通し。原材料価格は上昇傾向が大幅に強まり、販売価格はかなり下降幅が拡大するとみられる。在庫は過剰に転じ、資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、設備投資をする企業はかなり増加する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で36.4%、2位は「利幅の縮小」「原材料高」

がともに 27.3%、3 位は「仕入先からの値上げ要請」「生産能力の不足」がともに 18.2%となった。重点経営施策については、1 位が「販路を広げる」で 54.5%、2 位は「経費を節減する」で 36.4%、3 位は「新製品・技術を開発する」で 18.2%となった。

(3)電気機械器具

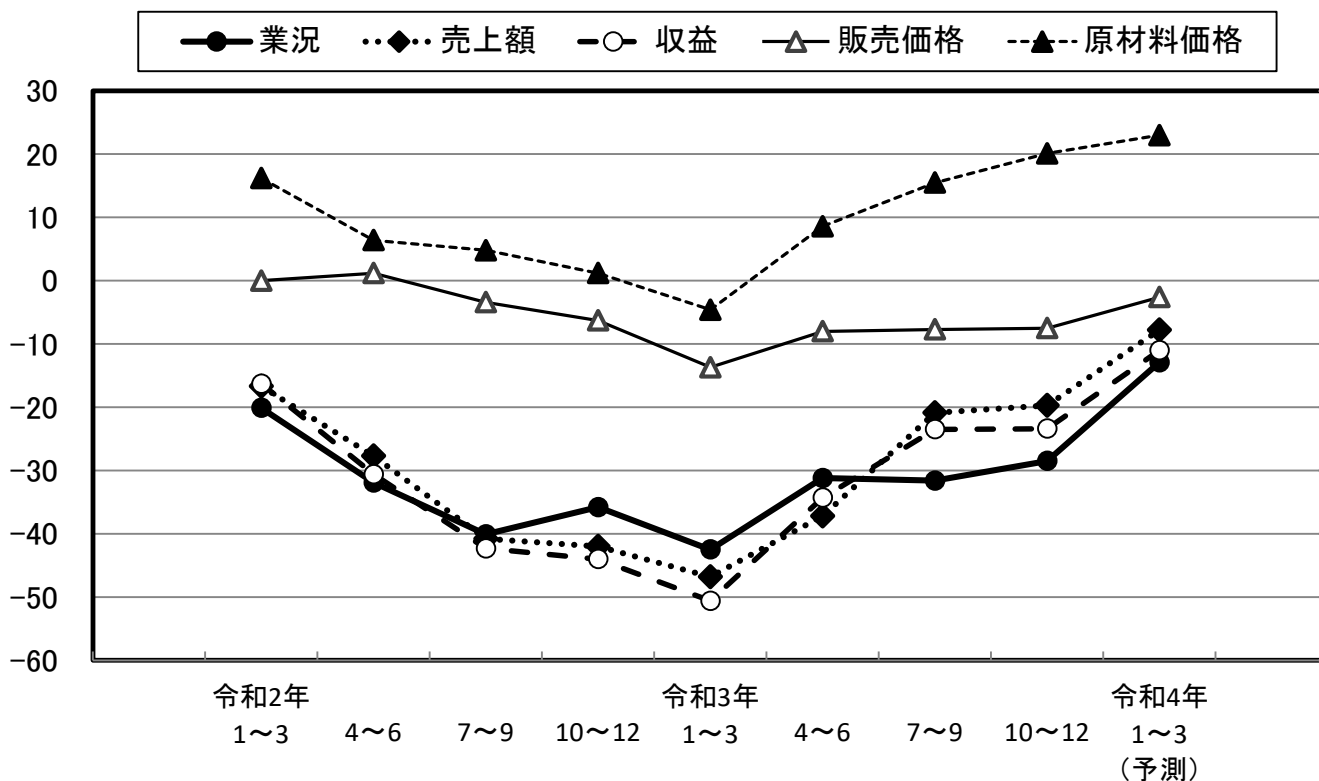
業況は△31.6 で前期比 20.2 ポイント減と非常に低調感が強まった。受注残は△9.4 で 25.9 ポイント増と極端に減少幅が縮小し、売上額は△11.0 で 9.1 ポイント増と大幅に改善し、収益は△20.6 で 5.3 ポイント減と多少減益幅が拡大した。今期の「電気機械器具」は、売上額、受注残は改善し、業況、収益は悪化した。

価格動向については、原材料価格は 25.9 で 1.5 ポイント減と若干上昇傾向が弱まり、販売価格は△0.9 で 6.8 ポイント増と大幅に下降傾向が弱まった。在庫は 0.7 で 9.1 ポイント増と不足から適正水準となった。資金繰りは△34.6 で 15.6 ポイント減と大幅に厳しさが増し、借入難易度は△16.7 で 26.7 ポイント減と厳しい状況に転じた。借入をした企業は 15.4%で 7.7 ポイント増と大きく増加し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 15.4%で 7.7 ポイント増とかなり増加した。

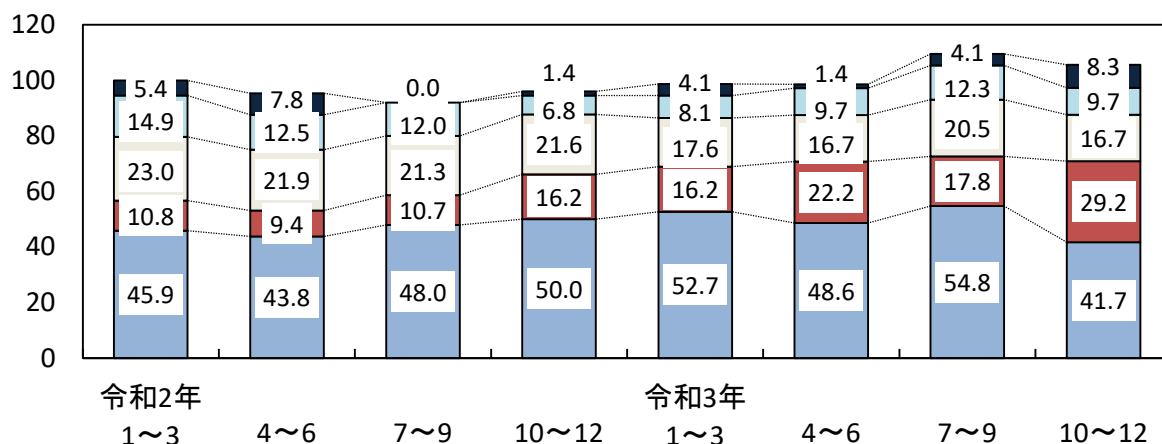
来期の見通しについては、業況は厳しさが極端に和らぐ見込み。売上額、受注残はともに増加に転じ、収益は減益幅が大きく縮小する見通し。販売価格はほぼ横這いで推移し、原材料価格は上昇傾向がかなり弱まるとみられる。在庫は適正水準から不足となり、資金繰りは窮屈感が大幅に緩和し、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1 位は「売上の停滞・減少」で 46.2%、2 位は「人手不足」で 30.8%、3 位は「利幅の縮小」「原材料高」がともに 15.4%となった。重点経営施策については、1 位は「販路を広げる」で 46.2%、2 位は「経費を節減する」で 23.1%、3 位は「人材を確保する」で 15.4%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



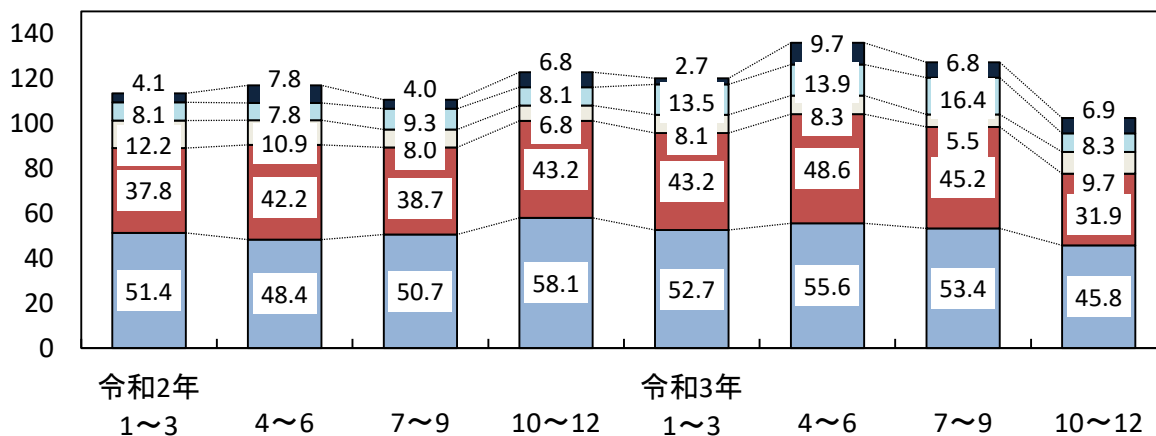
製造業 経営上の問題点（％）



■ 売上の停滞・減少
 ■ 原材料高
 □ 同業者間の競争の激化
 □ 利幅の縮小
 ■ 仕入先からの値上げ要請

	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	売上の停滞・減少 52.7%	売上の停滞・減少 48.6%	売上の停滞・減少 54.8%	売上の停滞・減少 41.7%
第2位	同業者間の競争の激化 17.6%	原材料高 22.2%	同業者間の競争の激化 20.5%	原材料高 29.2%
第3位	原材料高 16.2%	同業者間の競争の激化 16.7%	原材料高 17.8%	同業者間の競争の激化 16.7%
第4位	人手不足 13.5%	販売納入先からの値下げ要請 11.1%	利幅の縮小 12.3%	利幅の縮小 9.7%
第5位	利幅の縮小 8.1%	利幅の縮小 9.7%	人手不足 8.2%	仕入先からの値上げ要請 8.3%

製造業 重点経営施策（％）



■ 販路を広げる
 ■ 経費を節減する
 □ 人材を確保する
 □ 情報力を強化する
 ■ 新製品・技術を開発する

	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	販路を広げる 52.7%	販路を広げる 55.6%	販路を広げる 53.4%	販路を広げる 45.8%
第2位	経費を節減する 43.2%	経費を節減する 48.6%	経費を節減する 45.2%	経費を節減する 31.9%
第3位	情報力を強化する 13.5%	情報力を強化する 13.9%	情報力を強化する 16.4%	人材を確保する 9.7%
第4位	提携先を見つける 9.5%	新製品・技術を開発する 9.7%	提携先を見つける 9.6%	情報力を強化する 8.3%
第5位	人材を確保する 8.1%	人材を確保する 8.3%	教育訓練を強化する 6.8%	新製品・技術を開発する 6.9%

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 51.1$ で前期比 16.9 ポイント減とかなり低調感が強まった。売上額は $\Delta 20.4$ で 6.0 ポイント増と大きく持ち直し、収益は $\Delta 20.0$ で 0.3 ポイント増と前期並の減益が続いた。来期の見通しについては、業況は悪化幅がかなり縮小し、売上額、収益はともに大きく減少・減益幅が縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 2.2 で 3.1 ポイント増と上昇に転じ、仕入価格は 14.1 で 13.4 ポイント増と大幅に上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 6.1$ で 7.0 ポイント増と大きく不足感が改善した。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向がかなり強まり、仕入価格は今期同様の上昇が続く見通し。在庫は不足感が大幅に強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

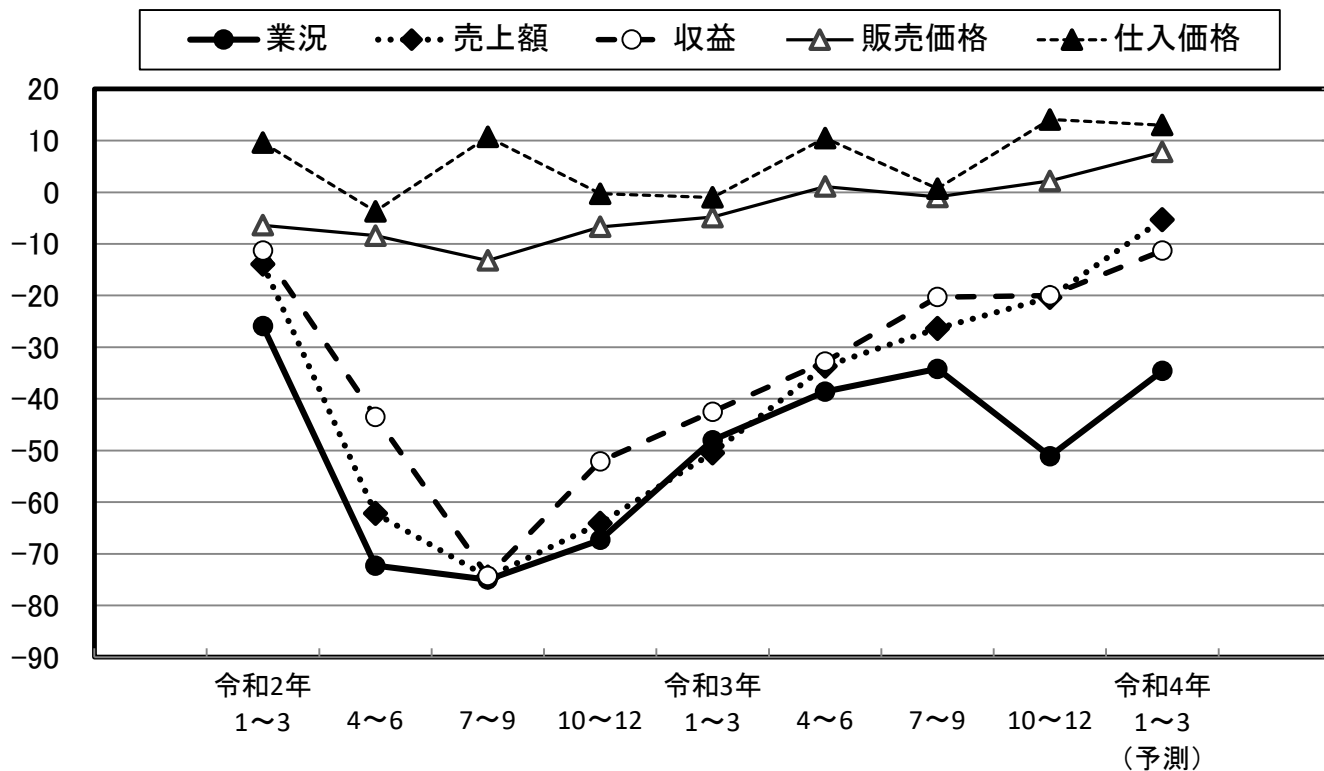
資金繰りは $\Delta 12.7$ で 1.3 ポイント減と前期同様の苦しさとなり、借入難易度は 15.8 で 9.2 ポイント減と大きく容易さが縮小した。借入をした企業は 10.0%で 0.5 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 0.0%で 4.8 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入をする企業、設備投資をする企業はともにかなり増加する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

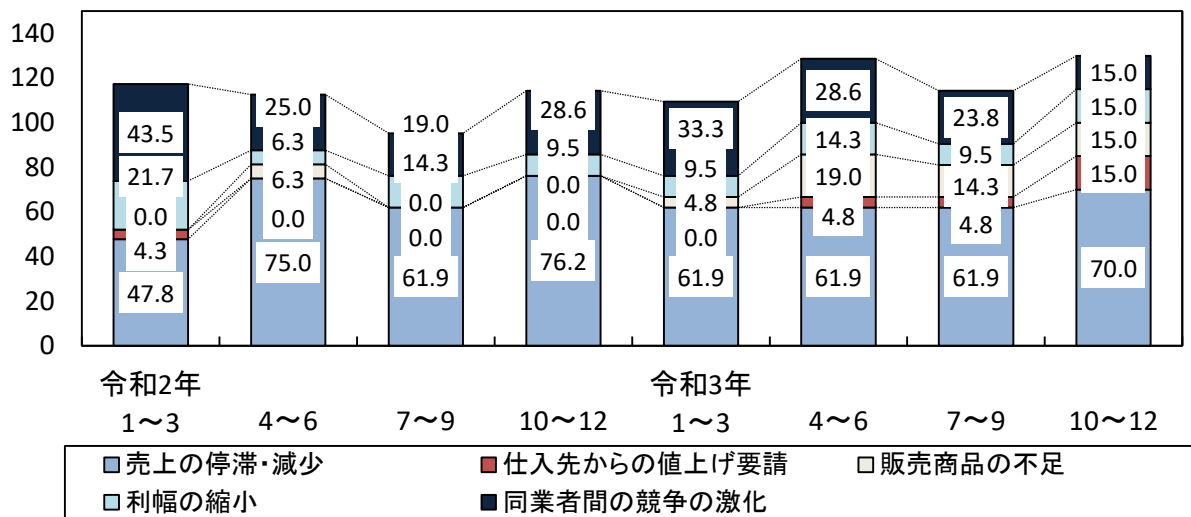
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で 70.0%となった。次いで2位は「仕入先からの値上げ要請」「販売商品の不足」「利幅の縮小」「同業者間の競争の激化」がいずれも 15.0%、3位は「人手不足」「取引先の減少」がともに 10.0%となった。以下、4位は「小口注文・多頻度配送の増加」「取扱商品の陳腐化」「為替レートの変動」がいずれも 5.0%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で 65.0%となった。次いで2位は「経費を節減する」が 45.0%、3位は「品揃えを充実する」が 25.0%となった。以下、4位は「情報力を強化する」が 20.0%、5位は「人材を確保する」が 15.0%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

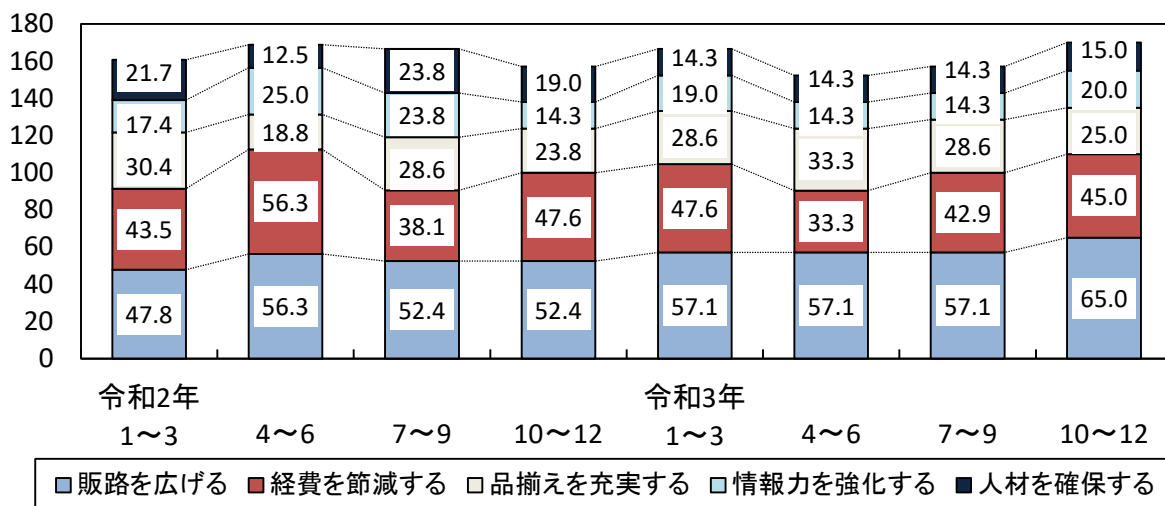


卸売業 経営上の問題点（％）



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 70.0 %
第2位	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 28.6 %	同業者間の競争の激化 23.8 %	仕入先からの値上げ要請 15.0 % 販売商品の不足 15.0 % 利幅の縮小 15.0 % 同業者間の競争の激化 15.0 %
第3位	人手不足 14.3 %	販売商品の不足 19.0 %	販売商品の不足 14.3 %	人手不足 10.0 % 取引先の減少 10.0 %
第4位	為替レートの変動 9.5 % 利幅の縮小 9.5 %	利幅の縮小 14.3 %	利幅の縮小 9.5 % 人手不足 9.5 %	小口注文・多頻度配送の増加 5.0 % 取扱商品の陳腐化 5.0 % 為替レートの変動 5.0 %
第5位	合理化の不足 4.8 % 小口注文・多頻度配送の増加 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 販売商品の不足 4.8 % 人件費の増加 4.8 % 取引先の減少 4.8 % 店舗の狭小・老朽化 4.8 %	為替レートの変動 9.5 % 取扱商品の陳腐化 9.5 % 取引先の減少 9.5 % 人手不足 9.5 %	小口注文・多頻度配送の増加 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 仕入先からの値上げ要請 4.8 % 取引先の減少 4.8 % 為替レートの変動 4.8 %	

卸売業 重点経営施策（％）



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	販路を広げる 57.1 %	販路を広げる 57.1 %	販路を広げる 57.1 %	販路を広げる 65.0 %
第2位	経費を節減する 47.6 %	品揃えを充実する 33.3 % 経費を節減する 33.3 %	経費を節減する 42.9 %	経費を節減する 45.0 %
第3位	品揃えを充実する 28.6 %	人材を確保する 14.3 % 情報力を強化する 14.3 %	品揃えを充実する 28.6 %	品揃えを充実する 25.0 %
第4位	情報力を強化する 19.0 %	提携先を見つける 9.5 %	人材を確保する 14.3 % 情報力を強化する 14.3 %	情報力を強化する 20.0 %
第5位	人材を確保する 14.3 %	機械化を推進する 4.8 % 流通経路の見直しをする 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %	提携先を見つける 4.8 % 流通経路の見直しをする 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %	人材を確保する 15.0 %

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 22.4$ で前期比6.0ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 14.4$ で1.0ポイント減と前期並の減少が続き、収益は $\Delta 21.1$ で8.5ポイント減とかなり減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は厳しさが多少和らぎ、売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 5.8$ で5.8ポイント減とかなり下降幅が拡大し、仕入価格は0.8で6.2ポイント減と大きく上昇傾向が弱まった。在庫は0.6で1.2ポイント増と適正水準が続いた。来期の見通しについては、販売価格は上昇に転じ、仕入価格は上昇幅が幾分拡大し、在庫は過剰感が多少強まる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

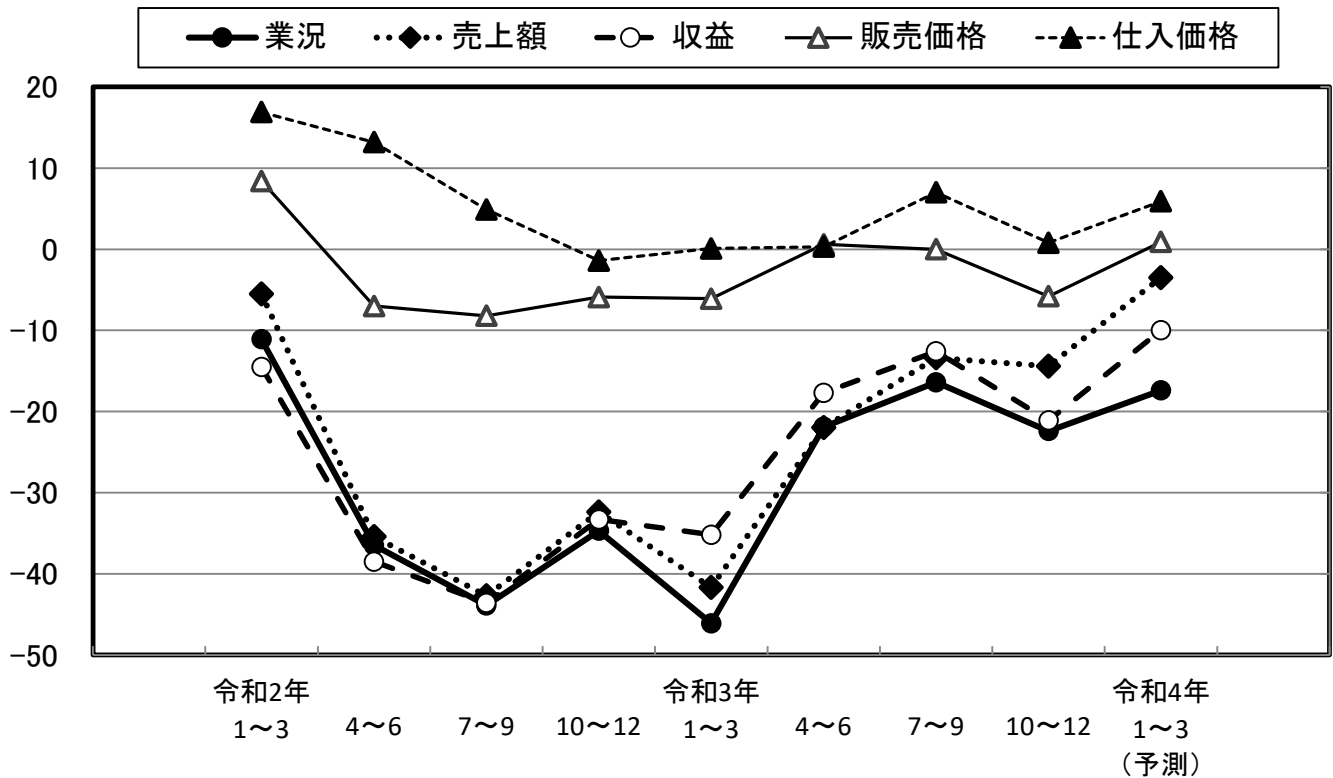
資金繰りは $\Delta 12.3$ で10.2ポイント減と大幅に厳しさが増した。借入難易度は $\Delta 7.4$ で7.4ポイント減とかなり厳しさが増した。借入をした企業は16.2%で0.5ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は11.1%で3.0ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入をする企業は大幅に減少し、設備投資をする企業は多少減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

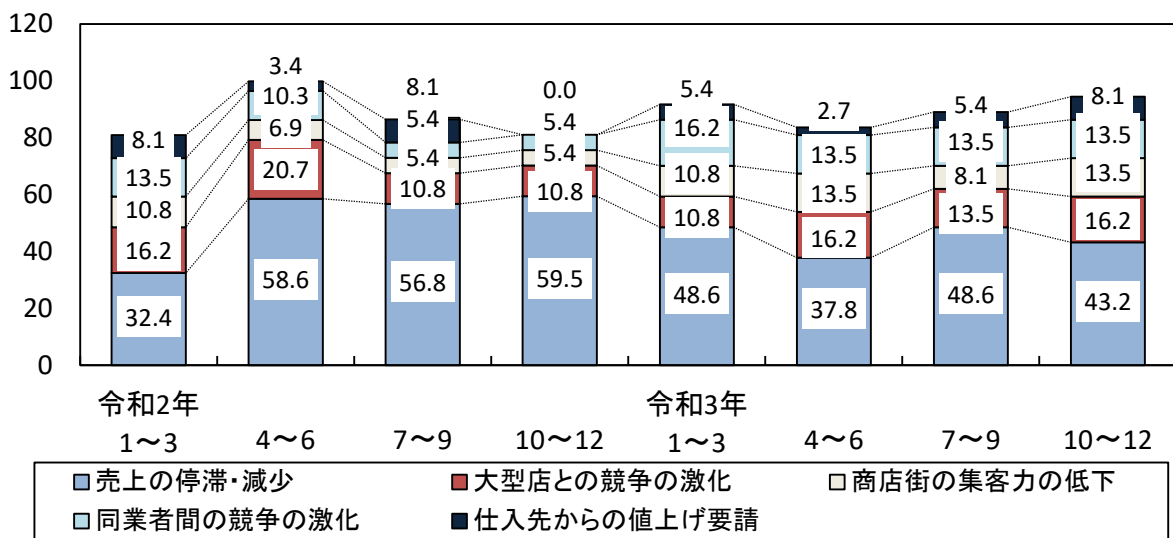
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で43.2%、2位は「大型店との競争の激化」で16.2%、3位は「商店街の集客力の低下」「同業者間の競争の激化」でともに13.5%となった。以下、4位は「仕入先からの値上げ要請」「人手不足」でともに8.1%、5位は「利幅の縮小」「人件費以外の経費の増加」「取引先の減少」「天候の不順」でいずれも5.4%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で45.9%、2位は「品揃えを改善する」で21.6%、3位は「売れ筋商品を取り扱う」「宣伝・広告を強化する」でともに18.9%となった。以下、4位は「商店街事業を活性化させる」で13.5%、5位は「仕入先を開拓・選別する」で10.8%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

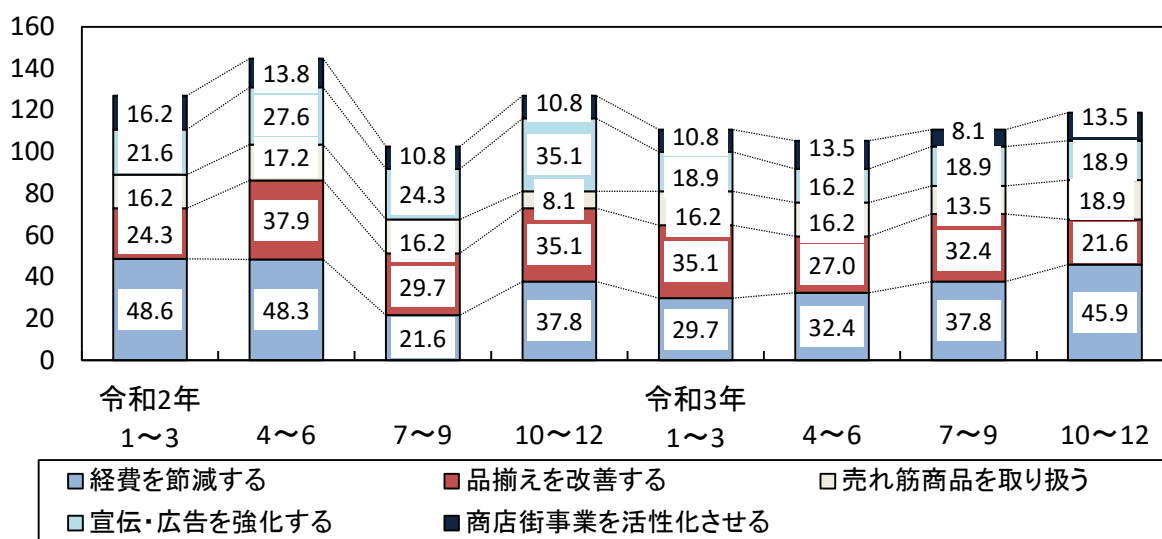


小売業 経営上の問題点 (%)



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	売上の停滞・減少 48.6 %	売上の停滞・減少 37.8 %	売上の停滞・減少 48.6 %	売上の停滞・減少 43.2 %
第2位	同業者間の競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	大型店との競争の激化 16.2 %
第3位	商店街の集客力の低下 10.8 % 大型店との競争の激化 10.8 %	商店街の集客力の低下 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	天候の不順 10.8 %	商店街の集客力の低下 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %
第4位	人手不足 8.1 %	天候の不順 10.8 %	商店街の集客力の低下 8.1 % 商圈人口の減少 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 8.1 % 人手不足 8.1 %
第5位	利幅の縮小 5.4 % 仕入先からの値上げ要請 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 店舗の狭小・老朽化 5.4 %	店舗の狭小・老朽化 8.1 %	人手不足 5.4 % 利幅の縮小 5.4 % 仕入先からの値上げ要請 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 店舗の狭小・老朽化 5.4 %	利幅の縮小 5.4 % 人件費以外の経費の増加 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 天候の不順 5.4 %

小売業 重点経営施策（％）



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	品揃えを改善する 35.1 %	経費を節減する 32.4 %	経費を節減する 37.8 %	経費を節減する 45.9 %
第2位	経費を節減する 29.7 %	品揃えを改善する 27.0 %	品揃えを改善する 32.4 %	品揃えを改善する 21.6 %
第3位	宣伝・広告を強化する 18.9 %	売れ筋商品を取り扱う 16.2 % 宣伝・広告を強化する 16.2 %	宣伝・広告を強化する 18.9 %	売れ筋商品を取り扱う 18.9 % 宣伝・広告を強化する 18.9 %
第4位	売れ筋商品を取り扱う 16.2 %	商店街事業を活性化させる 13.5 %	売れ筋商品を取り扱う 13.5 %	商店街事業を活性化させる 13.5 %
第5位	商店街事業を活性化させる 10.8 %	仕入先を開拓・選別する 8.1 %	商店街事業を活性化させる 8.1 %	仕入先を開拓・選別する 10.8 %

サービス業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 41.0$ で前期比6.6ポイント増とかなり悪化幅が縮小した。売上額は $\Delta 25.1$ で7.1ポイント増、収益は $\Delta 24.3$ で8.8ポイント増とともに大幅に減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況はかなり上向き、売上額、収益はともに大きく改善する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は $\Delta 6.6$ で4.9ポイント増とやや下降傾向が弱まり、材料価格は4.8で1.4ポイント減と前期並の上昇が続いた。来期の見通しについては、料金価格は前期同様の低下基調で推移し、材料価格は前期並の上昇が続く見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

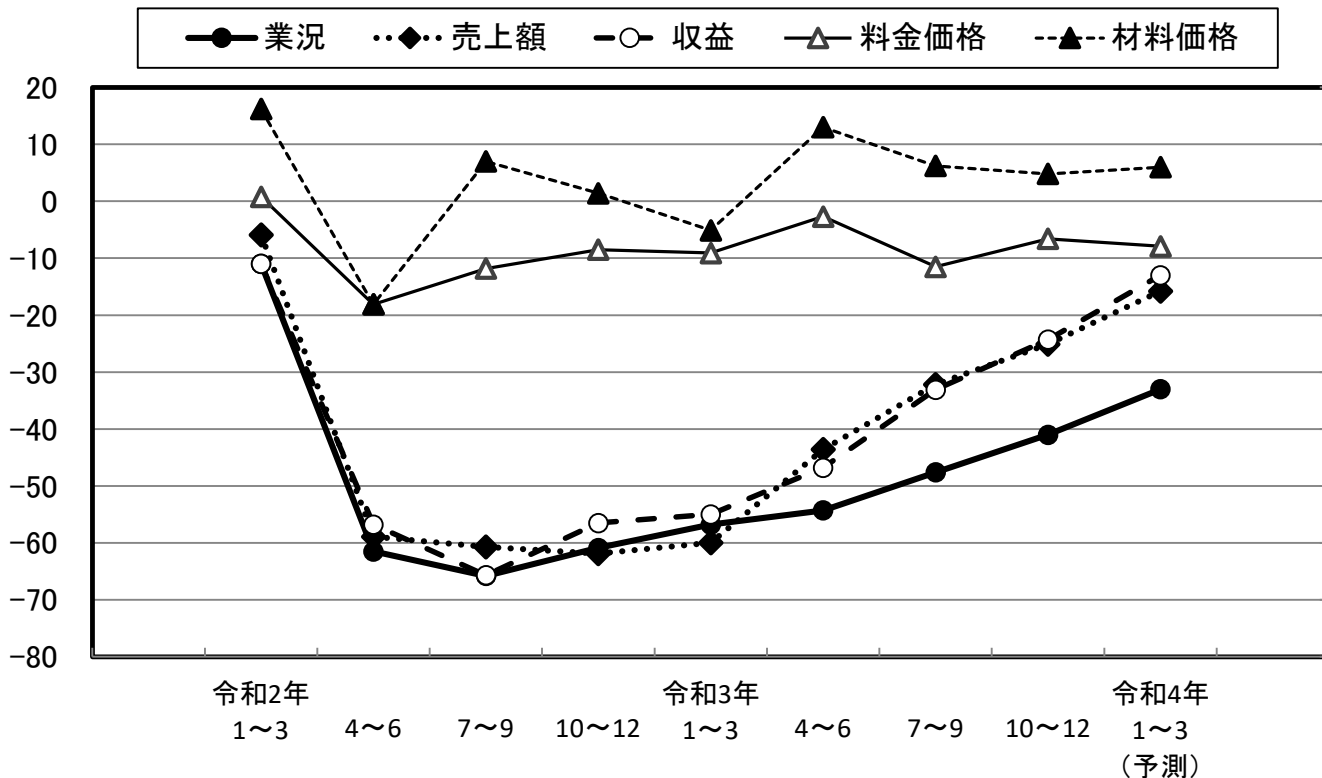
資金繰りは $\Delta 15.7$ で8.9ポイント増と大きく窮屈感が緩和し、借入難易度は5.1で0.1ポイント減と前期同様の容易な状況となった。借入をした企業は10.6%と2.3ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は13.0%と4.7ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは前期並の苦しさとなり、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともにやや減少する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

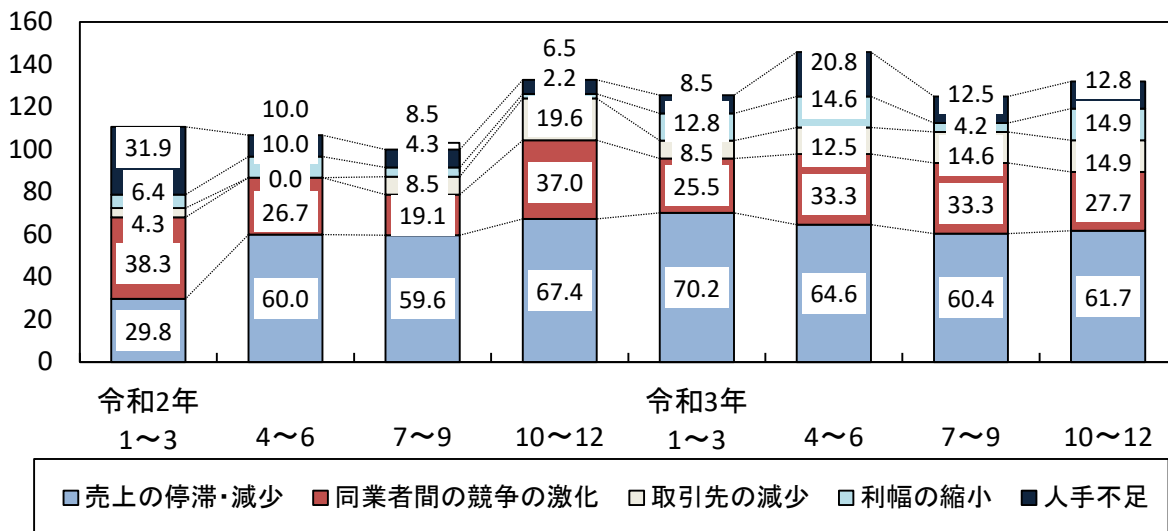
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で61.7%、2位は「同業者間の競争の激化」で27.7%、3位は「取引先の減少」「利幅の縮小」でともに14.9%となった。以下、4位は「人手不足」で12.8%、5位は「大企業との競争の激化」「材料価格の上昇」「人件費の増加」でいずれも6.4%と続いた。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で48.9%、2位は「経費を節減する」で40.4%、3位は「宣伝・広告を強化する」で14.9%となった。以下、4位は「教育訓練を強化する」「提携先を見つける」でともに12.8%、5位は「人材を確保する」で8.5%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

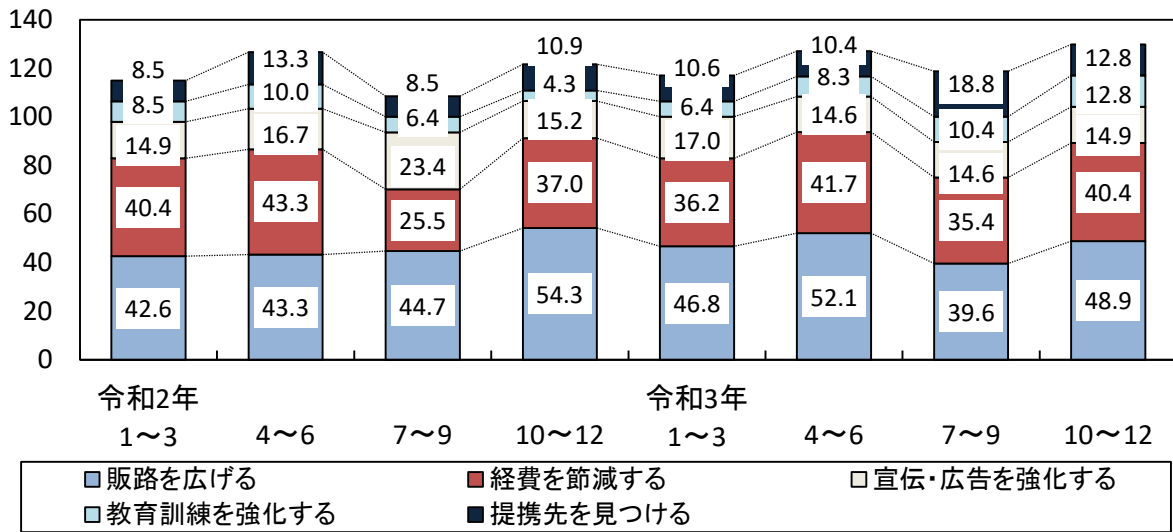


サービス業 経営上の問題点（%）



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	売上の停滞・減少 70.2 %	売上の停滞・減少 64.6 %	売上の停滞・減少 60.4 %	売上の停滞・減少 61.7 %
第2位	同業者間の競争の激化 25.5 %	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 27.7 %
第3位	利幅の縮小 12.8 %	人手不足 20.8 %	取引先の減少 14.6 %	取引先の減少 14.9 % 利幅の縮小 14.9 %
第4位	取引先の減少 8.5 % 人手不足 8.5 %	利幅の縮小 14.6 %	人手不足 12.5 %	人手不足 12.8 %
第5位	人件費の増加 6.4 %	取引先の減少 12.5 %	材料価格の上昇 8.3 %	大企業との競争の激化 6.4 % 材料価格の上昇 6.4 % 人件費の増加 6.4 %

サービス業 重点経営施策（％）



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	販路を広げる 46.8 %	販路を広げる 52.1 %	販路を広げる 39.6 %	販路を広げる 48.9 %
第2位	経費を節減する 36.2 %	経費を節減する 41.7 %	経費を節減する 35.4 %	経費を節減する 40.4 %
第3位	宣伝・広告を強化する 17.0 %	宣伝・広告を強化する 14.6 %	提携先を見つける 18.8 %	宣伝・広告を強化する 14.9 %
第4位	店舗・設備を改装する 12.8 %	人材を確保する 10.4 % 技術力を強化する 10.4 % 提携先を見つける 10.4 %	技術力を強化する 16.7 %	教育訓練を強化する 12.8 % 提携先を見つける 12.8 %
第5位	提携先を見つける 10.6 %	教育訓練を強化する 8.3 %	宣伝・広告を強化する 14.6 %	人材を確保する 8.5 %

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 7.9$ で前期比 11.8 ポイント減と悪化に転じた。売上額は $\Delta 8.4$ で 5.2 ポイント減と幾分減少を強め、収益は $\Delta 12.6$ で 2.5 ポイント増と若干減益幅が縮小し、受注残は 2.7 で 0.1 ポイント増と前期同様に推移し、施工高は 7.0 で 8.3 ポイント増と増加に転じた。来期の見通しについて、業況は好転する見込み。売上額、収益はともに増加に転じ、受注残、施工高はともに増加幅が大きく拡大する見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 15.4 で 7.7 ポイント増、材料価格は 43.5 で 17.8 ポイント増とともにかかなり上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 5.0$ で 6.3 ポイント減と適正水準から品薄に転じた。来期の見通しについては、請負価格、材料価格はともに上昇傾向が幾分弱まり、在庫は過剰に転じる見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

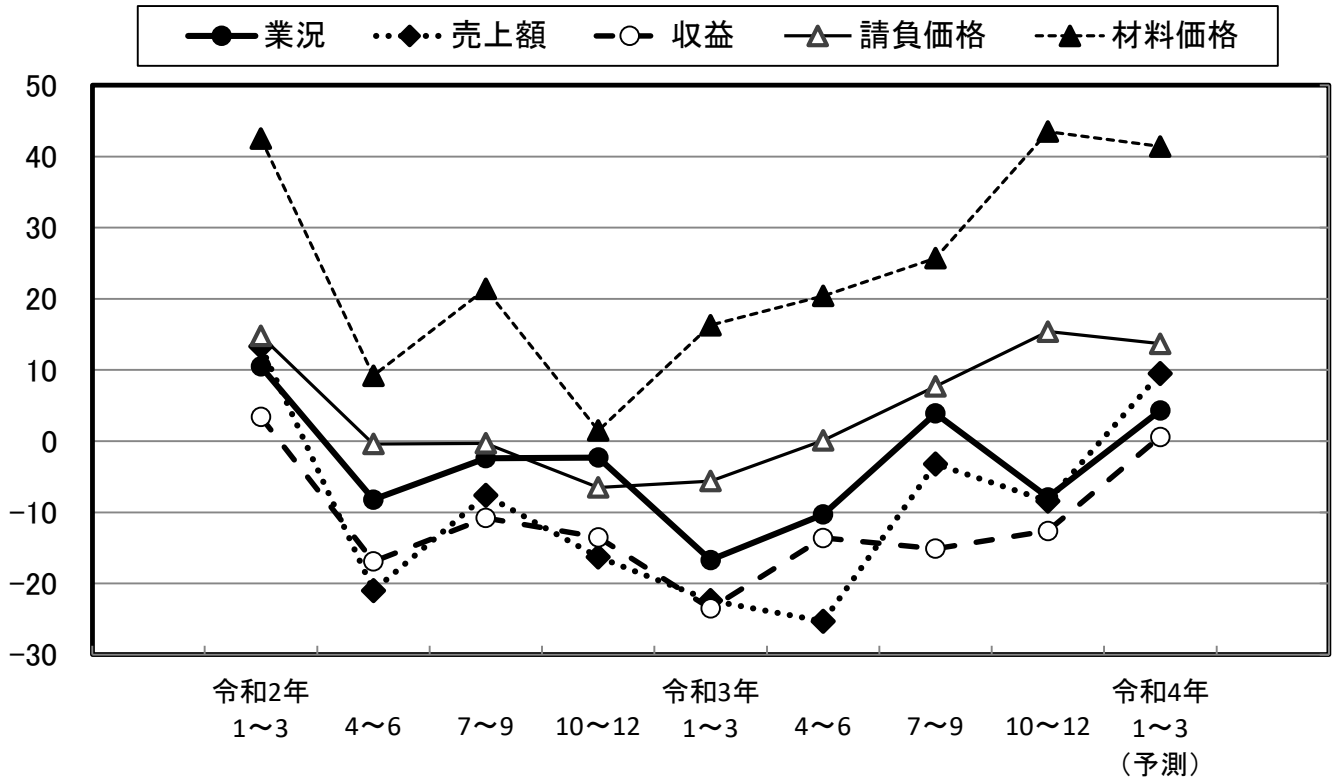
資金繰りは 2.5 で 5.0 ポイント増とやや容易となり、借入難易度は 4.0 で 10.8 ポイント減と大きく容易さが縮小した。借入をした企業は 16.1%と 3.3 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 9.7%と 0.3 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは容易さがかなり増し、借入をする企業は大幅に減少し、設備投資を実施する企業はわずかに増加する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

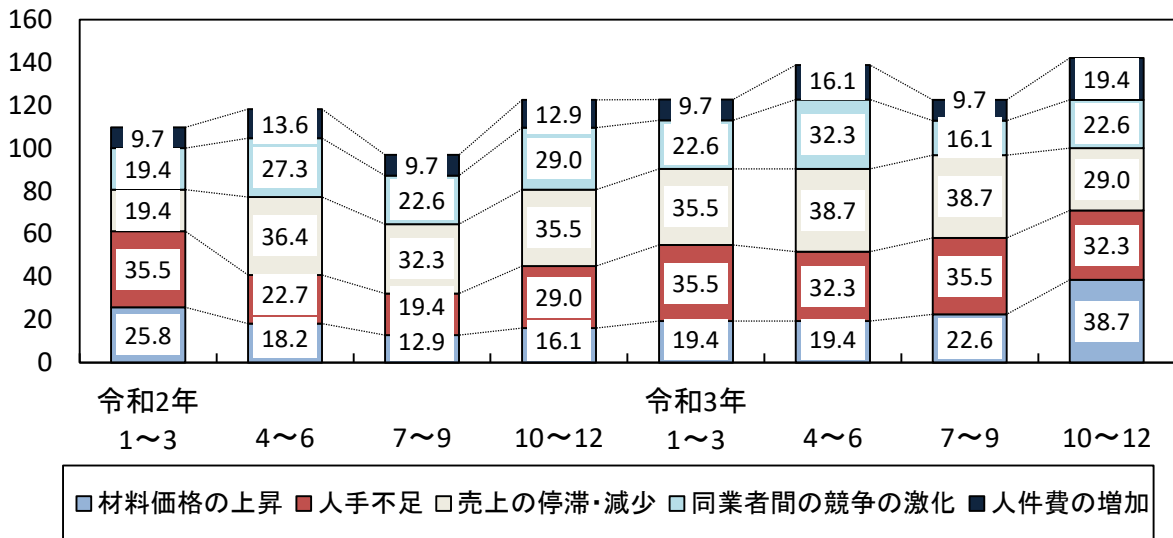
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で 38.7%となった。次いで 2位は「人手不足」で 32.3%、3位は「売上の停滞・減少」で 29.0%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」で 22.6%、5位は「人件費の増加」で 19.4%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で 41.9%となった。次いで 2位は「技術力を高める」で 35.5%、3位は「人材を確保する」が 32.3%となった。以下、4位は「情報力を強化する」「販路を広げる」でともに 25.8%、5位は「教育訓練を強化する」で 6.5%と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

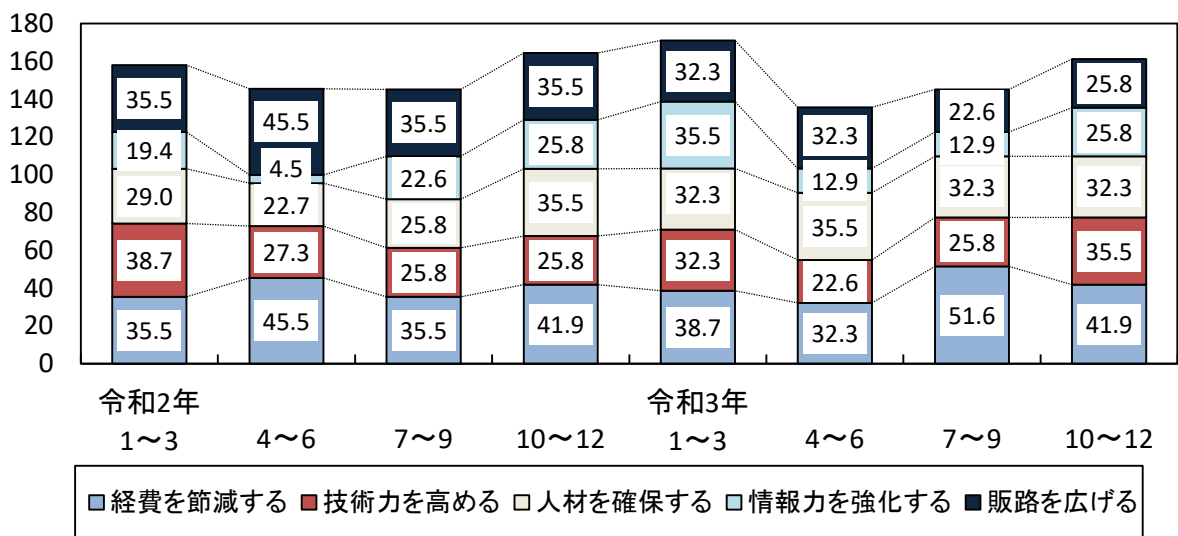


建設業 経営上の問題点 (%)



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	人手不足 35.5 % 売上の停滞・減少 35.5 %	売上の停滞・減少 38.7 %	売上の停滞・減少 38.7 %	材料価格の上昇 38.7 %
第2位	同業者間の競争の激化 22.6 %	同業者間の競争の激化 32.3 % 人手不足 32.3 %	人手不足 35.5 %	人手不足 32.3 %
第3位	材料価格の上昇 19.4 %	材料価格の上昇 19.4 %	材料価格の上昇 22.6 %	売上の停滞・減少 29.0 %
第4位	人件費の増加 9.7 % 大手企業との競争の激化 9.7 % 下請の確保難 9.7 %	人件費の増加 16.1 %	同業者間の競争の激化 16.1 %	同業者間の競争の激化 22.6 %
第5位	利幅の縮小 6.5 %	下請の確保難 12.9 %	天候の不順 12.9 % 下請の確保難 12.9 %	人件費の増加 19.4 %

建設業 重点経営施策（％）



	令和3年1月～3月期	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期
第1位	経費を節減する 38.7 %	人材を確保する 35.5 %	経費を節減する 51.6 %	経費を節減する 41.9 %
第2位	情報力を強化する 35.5 %	経費を節減する 32.3 % 販路を広げる 32.3 %	人材を確保する 32.3 %	技術力を高める 35.5 %
第3位	人材を確保する 32.3 % 技術力を高める 32.3 % 販路を広げる 32.3 %	技術力を高める 22.6 %	技術力を高める 25.8 %	人材を確保する 32.3 %
第4位	教育訓練を強化する 9.7 %	情報力を強化する 12.9 %	販路を広げる 22.6 %	情報力を強化する 25.8 % 販路を広げる 25.8 %
第5位		教育訓練を強化する 9.7 %	情報力を強化する 12.9 %	教育訓練を強化する 6.5 %